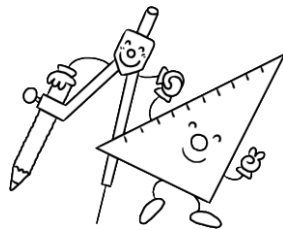


1 家庭学習のねらい

- ① 学習習慣を身に付けさせること
- ② 基礎学力を身に付けさせること
- ③ 自発的な学習意欲を伸ばすこと



2 家庭学習の取り組み方

(1) 環境

① 学習の環境

学習に集中できる環境を整えましょう。

- (例) ・テレビを消す。
・机の上をきれいにする。
・よい姿勢で取り組む。

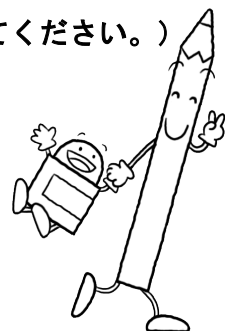
② 学習の時間のめやす

学年×15分

- (例) ・1年生→15分
・6年生→90分 をめやすに。

③ お家の方のかかり方

- ・学習するときは、できるだけ近くで見てください。
- ・学習環境が整っているか、声掛けをしてください。(ノートに下敷きを敷いているか確かめてください。)
- ・子どもの興味・関心を伸ばし、やる気が出る声掛けをしてください。
- ・ノートや学級通信に目を通して、がんばりを認めてください。
- ・学習開始時刻をいっしょに決めてください。



(2) 手順

① 宿題を、必ず最初にします。

② 時間があったら、「チャレンジ学習」をノートにします。「家庭学習の内容」の中から選んで取り組ませていただきます。

3 家庭学習の内容 *ノートには、日付、めあて、ふり返りを必ず書きましょう。

<算数>

- ・計算練習
(計算ドリル・教科書の問題・百ます計算)
- ・定規・コンパス・分度器の練習
- ・問題づくり
- ・テストやプリントの問題をもう一度解く。
- ・学習したことをもう一度自分でする。

<国語>

- ・言葉集め
- ・漢字練習(漢字ドリル)
- ・意味調べ(分からない言葉調べ)
- ・日記
- ・音読・暗唱
- ・視写
- ・読書
- ・テストやプリントの問題をもう一度解く。
- ・学習したことをもう一度自分でする。

<社・理・生・総 他>

- ・勉強したことに関係あることを資料などで調べる。
(新聞・地図・図鑑・地球儀・年表など)
- ・自然や生き物の観察
- ・お家の人と博物館・科学館・工場などへ見学に行く。
- ・授業で学習したことをもう一度ノートにまとめる。
- ・体力づくり(柔軟体操・縄跳びなど)
- ・料理づくり

音楽や道徳など、他教科でも国語の学習内容と関連させて取り組みましょう。